

2012 年度 事業報告書

(2012 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、本学開学30周年(2017年度)に向けた2012年度～2016年度の5カ年計画として策定。

これまでの教育システムを根本的に見直し、維持するものは維持し、変えるものは大胆な発想で変えることで、ベストな教育システムを構築するための投資と、それを推進する組織・制度の整備を行うことが、中内学園中長期計画(N-PLAN)における最大の目的である。

②沿革

1979(昭和54)年	5月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和59)年	3月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和60)年	6月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和61)年	1月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和62)年	12月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和63)年	1月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和63)年	4月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成3)年	12月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成4)年	4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成5)年	12月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設認可
1994(平成6)年	4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成7)年	12月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成8)年	4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成9)年	9月	中内記念館(10周年記念事業)竣工
1997(平成9)年	12月	大学院(流通科学研究科 博士課程)設置認可
1998(平成10)年	4月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
2001(平成13)年	4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2004(平成16)年	5月	大阪オフィス開設(大阪駅前第4ビル19階)
2005(平成17)年	3月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成18)年	4月	アスレチック棟(20周年記念事業)竣工
2006(平成18)年	9月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成18)年	9月	流通資料館開設
2007(平成19)年	7月	講義棟6(20周年記念事業)竣工
2008(平成20)年	8月	第二クラブハウス竣工
2009(平成21)年	10月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成22)年	4月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成22)年	6月	中内功記念館リニューアル
2011(平成23)年	1月	大阪オフィス移転(ハービス OSAKA オフィスタワー8階)
2011(平成23)年	4月	商学部(商学科)開設 ※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組 総合政策学部(総合政策学科)開設 ※情報学部 経済情報学科、経営情報学 科を改組 サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント)学科開設 ※サービス産業 学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組 リテール科学研究所設立
2011(平成23)年	9月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成24)年	2月	第三クラブハウス竣工

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:石井淳蔵

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

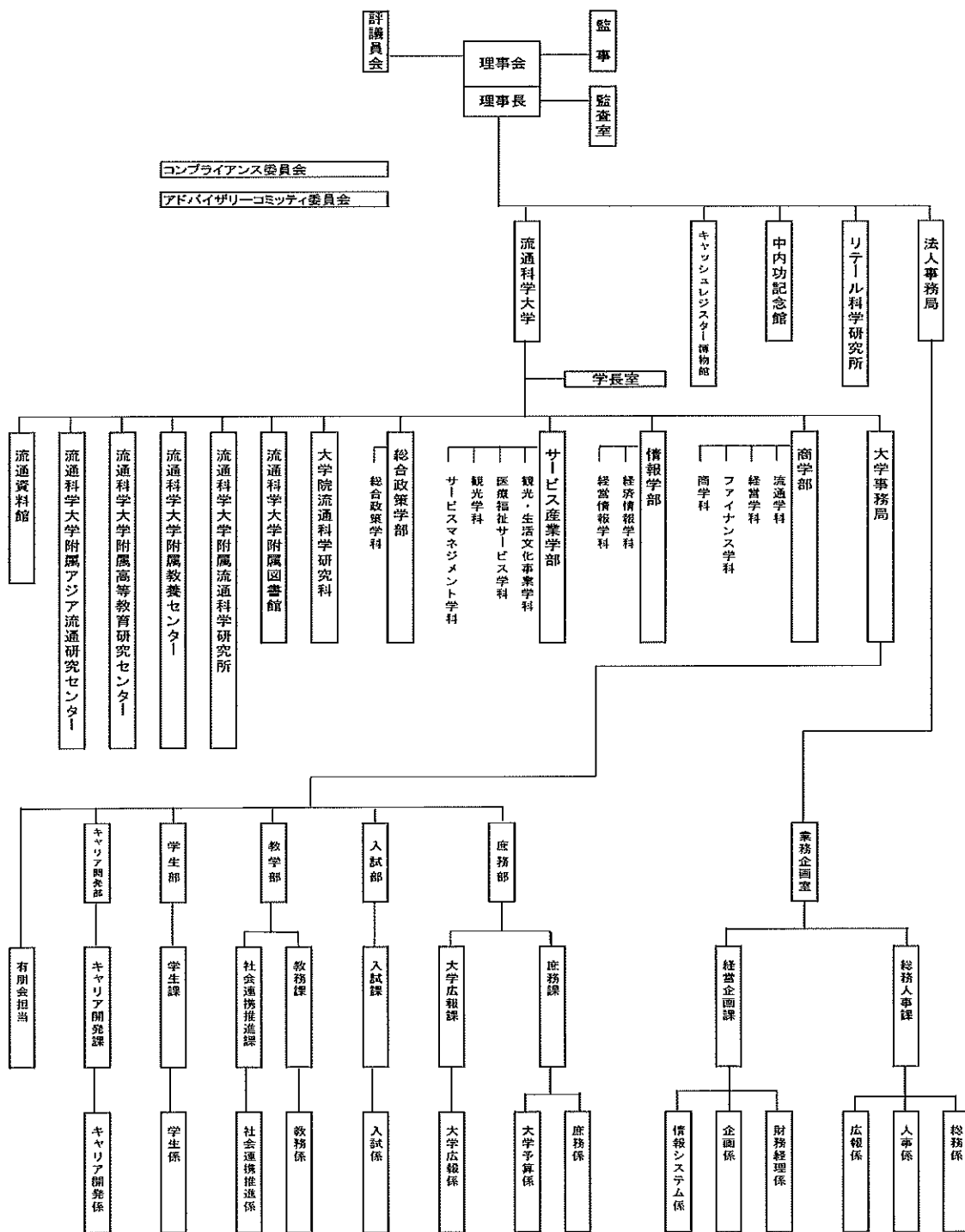
学 長:石井淳蔵

④役員及び教職員に関する情報

(2012.5.1 現在)

理 事	13 名	(うち学内理事)	8 名	(うち学外理事)	5 名		
監 事	3 名	(うち常勤監事)	1 名				
評議員	31 名						
顧 問	1 名						
教 員	108 名	(うち教授)	70 名	(うち准教授)	31 名	(うち講師)	7 名
		平均年齢(教授)	56 歳	平均年齢(准教授)	43 歳	平均年齢(講師)	40 歳
職 員	153 名	(うち正職員)	53 名				

⑤学校法人の組織図(2012.4)



⑥法人が関係する会社

- | | |
|----------|---|
| 1. 会社名 | 流科サービス株式会社 |
| 2. 事業内容 | 学内のコンビニエンスストア経営、システム管理、自動販売機の管理等 |
| 3. 資本金 | 50,000 千円(中内学園 100%出資) |
| 4. 従業員数等 | 取締役 4 名、従業員 4 名(準職員 3 名含む) |
| 5. 営業状況 | 営業収益 17,587 千円、経常利益 1,673 千円(2013 年 2 月期) |

なお、コンビニエンスストアは売上高ではなく、FC 契約に基づくオーナー収入を営業収益として算出

二	事業の概要
---	-------

<大学改革>

■入試

1. 育てたい人物像「『ネアカ のびのび へこたれず』の精神を持つ」を見据えた入試制度、判断基準の確立
 - 入学者数 761 名（前年度 840 名）
 - 志願者数 1,784 名（前年度 2,370 名）
 - オープンキャンパス来場者数 3,122 名（前年度比 186.9%） ※クラブオープンキャンパス含む
2. 一般広報活動
 - 新聞雑誌掲載記事件数 371 件（前年度比 76.7%）
 - 本学公式フェイスブックを立ち上げ、ホームページとは異なる視点で新着記事を広報した。又、OBOG 訪問大作戦という本学独自のアプリを開発し、新聞記事で 2 件掲載された。
 - 学内広報の徹底として、当年度より学内のさまざまな広報誌を集約の上、学内報（RYUKA 通信）を作成し、年 4 回（7 月、9 月、12 月、2 月）刊行した。

■教育

1. 従来の講義暗記型、一方通行型の多人数教育から、参画型、少人数型教育への転換（特に初年次において）
 - 参画型教養科目について、受講者の定員を設定し、少人数教育を実施した。
 - 参画型教養科目
 - 「読書力」、「コミュニケーション技法と実践」、「変動する社会とくらし」、「プレゼンテーション技法と実践」、「生涯学習力」、「自己理解と他者理解」、「学習と自己実現」、「アジアを考える」、「リーダーシップと考える力」、「小売業の使命と魅力」

2. 学生に将来の夢や目標、興味・関心を入学後できるだけ早期に発見させることを目的とした初年次教育改革

- 初年次教育改革タスクにおいて、学習習慣定着のきっかけを与える新プログラムの素案を提案した。
- 前年度作成した外国語教材について、バージョンアップを実施し、新教材を活用し、授業を行った。
- 協定校への留学実績は、ワイカト大学1名、ポートランド州立大学4名、南台科技大学1名、東北財経大学1名（前年度実績：ポートランド州立大学2名、復旦大学1名）。

3. 社会連携推進プログラムの更なる推進

- 学園都市ゼミ対抗企画「日本盛杯」を開催。参加大学4大学（神戸学院大学、神戸芸術工科大学、兵庫県立大学、本学）43チーム参加者総数202名（本学124名、他大学78名）に達し、開催以降最大規模となった（前年度は2大学39チーム約190名が参加）。なお本学チーム（山下貴子ゼミ：盛☆Girls）が初優勝を飾った。（提案内容「酒コスメ新商品」）
- 神戸市と本学で開発を進めていた神戸旬菜のPRプロジェクトから、神戸市内の他大学を巻き込む形で発展した「KOBEにさんがろくプロジェクト」が開催されることとなり、神戸牛三昧弁当、いかなごパン、神戸杏仁真珠パン、神戸マシュメレンが提案され、「神戸牛三昧弁当」が優秀賞を受賞した。

4. 個別施策

- 入学前教育として、参加者同士の交流を促進するプログラムや大学生活を円滑にスタートし、充実させるヒントとなるプログラムを実施した。（参加者128名）
- 「海外都市政策研修（総合政策学部）」を実施。参加学生20名、7日間による韓国での実地研修を通して、韓国の交通政策を学んだ。
- 「海外ホスピタリティ研修（サービス産業学部）」を実施。参加学生21名、5日間による香港・マカオでの実地研修を通して、海外のホスピタリティの現状を学んだ。
- SARD 第10回ワークショップを展開した。（10周年として本学にて開催）
 - ・ 期間：11月30日（金）～12月2日（日） ・ 場所：本学
 - ・ 参加国：イギリス、フランス、スウェーデン、フィンランド、アメリカ、

カナダ、チュニジア、中国、台湾、韓国、ベトナム、タイ、日本 の計 13
の国と地域

- ・ 学会参加者数：52 名（前年度 70 名）
- ・ 発表論文数：19 本（前年度 14 本）
- 5 月、セントラルワシントン大学（アメリカ）と新規に協定を締結し、合計提携大学 20 校となった。

■学生生活

1. 課外活動を中心とし、学生にルール・マナーを身につけさせるための施策検討

- 加入率 40.5%。（前年度比 108.0%）
- 加入者数 1,485 名（前年度比 102.8%）
- クラブ支援の強化策として、新たにサッカー部、陸上競技部、軟式野球部、ラグビー部、チアリーダー部、女子ラクロス部の指導者計 6 名を配置した。
- 「ポイ捨て」をなくすための全クラブ合同のクリーンキャンペーンを継続実施。

2. 学生満足度（「流科大」へ来て良かったと思わせる）を更に向上させるための学生向けプログラム検討

- 学園祭の総来場者数 9,725 名
- 12 月 22 日（土）に学生全体表彰式を「ポートフォリオコンテスト」、「冬の節電アイデアコンテスト」を加え実施した。（表彰対象 17 団体、106 人）（前年度 21 団体、85 人）
- 【表彰対象】学生懸賞論文、ポートフォリオコンテスト、レポート作文コンクール、冬の節電アイデアコンテスト、学生書評コンテスト、学生チャレンジプロジェクト、年度表彰「飛翔」
- マルシン市場（本学社会連携事業）、学園祭での本学模擬店（教育後援会支援）にて南三陸町をはじめとする東北地方の物産を販売し、売上の一部を被災地へ寄付した。
- 卒業生と在学生の結束強化を目的とし、10 月 20 日（土）、ホームカミングデー実施。来学者数 97 名（うち卒業生 74 名）。在学生サポーター 30 名が運営協力。

- 5月7日(月)、みかんホールおよびレストラン2階奥にWi-Fi環境を導入し、5月10日(木)より運用を開始した。

■キャリア開発

1. 学生が自らの「個性」を認識するためのサポート、学生のキャリアプラン作りのサポート

- 当年度資格講座受講者 845 名（前年度 696 名）
- SPI 対策講座を4月より1月までの期間、全102コマを実施した。のべ932名、実人数209名（うち3年生178名）が受講した。
- 11月1日（木）～12月7日（金）の日程で23社にご協力いただき、業界研究セミナーを実施した。
参加学生数はのべ935名（前年度667名）
- 12月～2月上旬にかけて約150社にご協力いただき、企業説明会を実施した。
参加学生数はのべ4,822名（前年度3,923名）
- キャリア探検隊を継続実施し、34名の学生が参加（訪問先：製造業、卸売業、金融業、保険業等）
- 有朋会による企画「シゴト交流会」を11月9日（金）に実施。本学卒業生20名にご協力いただき、就職活動を目前に控えた3年生14名に対して「シゴト」についての講義、アドバイスを実施していただいた。

2. 就職活動のサポート

- 留学生の就職支援として、就職説明会を実施した。
- 図書館の利用促進として、業界リサーチルーム（ラーニングコモンズ）として再編し、就職活動関連資料の利用率アップ、就職試験対策として「図書館の森」講座を実施した。
- 就職率 79.4%（前年度 74.5%）、就職内定率 97.5%（前年度 96.7%）

<組織力・経営力強化>

■意思決定プロセス

1. 経営戦略会議の設置により、法人の方針に従って、大学が決定し遂行するプロセスの確立
 - 中内学園中長期計画（N-PLAN）の各項目における具体案を作成し、10月16日（火）の経営戦略会議および10月26日（金）の理事会・評議員会にて審議承認。

■財務構造

1. 将来的に大幅な補助金削減があることを想定し、財務構造の磐石化を図る
 - 健全性の維持として、人件費、教育研究経費は予算内運用。管理経費は予算オーバーとなったが、3大経費合計としては予算内運用。
2. 第二の収益源確保対策検討
 - オープンカレッジ当年度受講者1,053名（前年度1,137名）。

■投資計画

1. 選択と集中（中長期計画において必要な投資を決定すると同時に、不必要とされる経費の削減等を実施）
 - 国債、仕組み預金を中心としたローリスク運用を継続。

<学園・大学の存在価値明確化>

■学園・大学の象徴となる組織の発展

1. 各業界団体と協力し、テーマを絞り込んだ研究会を実施するとともに、研究者（教育者）を採用、養成し、学園・大学の存在価値を明確にするための目標「リテールを一つの産業として確立させる」への基盤づくりを実施
 - 9月28日（金）、本学東京オフィスにおいて、「第三回リテール科学研究所意見交換会（テーマ：社会保障・税一体改革と年金制度改革について）」を開催し、流通関係協会の7協会7名、厚生労働省1名が出席した。
 - 2月19日（火）、20日（水）の2日間、コーネル大学リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパンの2月講座を本学にて開催。学長、本学教員3名による講演および懇親会を実施した。
2. 学園・大学の存在価値を明確にする中内功記念館、流通科学研究所、流通資料館の発展
 - 観光ビジネスモデル研究会（3回実施）
 - 第25回：12月14日（金）テーマ：「「資産活用型宿泊施設経営」について」
 - 第26回：1月22日（火）テーマ：「大丸心齋橋店の訪日客誘致の取り組み」
 - 第27回：3月1日（金）テーマ：「売るキャラ、くまモンの戦略 ー大阪でのブレイクから今までー」
 - まちづくり・流通研究会（6回実施）
 - 第14回：4月14日（土）テーマ：「持続可能なまちづくりとコンパクトシティ まちづくりと商店街」
 - 第15回：6月2日（土）テーマ：「東日本大震災後のまちづくりの課題」
 - 第16回：9月7日（金）テーマ：「地域活性化に対する考え方」
 - 第17回：11月22日（木）テーマ：「商工会議所におけるまちづくりへの取り組みについて」

- 第18回：1月25日（金） テーマ：「まちづくり施策の「政策効果」について考える」
- 第19回：3月21日（木） テーマ：「総括」
- 8月、「震災と流通研究会」講演録の冊子を研究会成果物として発刊した。
- 9月17日（月）、本学にて「中内記念ネアカ塾」を開催。地域住民参加型の身近なテーマを中心とした内容で22講座を開講し、のべ900名以上が参加した。

(2) 教育研究の概要

① 教育研究上の基本となる組織に関する情報(2012.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	コース
商学部	商学科	リテールマネジメントコース
		流通マーケティングコース
		経営戦略コース
		オペレーションズ・マネジメントコース
		財務マネジメントコース
総合政策学部	総合政策学科	地域政策コース
		財政・金融政策コース
		情報コミュニケーションコース
		流通フロンティアコース
サービス産業学部	観光学科	
	サービスマネジメント学科	サービスマーケティングコース
		スポーツ健康マネジメントコース
		サービス心理コース
		福祉マネジメントコース

流通科学大学大学院

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

② 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2012.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	商学科	42	25	11	6	21	16	17
総合政策学部	総合政策学科	31	18	12	1	22	7	10
サービス産業学部	観光学科	15	12	3	0	3	7	11
	サービスマネジメント学科	20	15	5	0	6	11	12

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	34	28	6	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

③学生に関する情報

<入学に関する基本的な方針>

- ・高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。
- ・高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

<2012年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	400名	409名
総合政策学部	250名	198名
サービス産業学部	250名	233名
学部計	900名	840名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	25名
	博士後期課程	5名	1名
大学院計		25名	26名

総合計	925名	866名
-----	------	------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2012.5.1現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,600名	1,756名
情報学部	500名	562名
総合政策学部	500名	445名
サービス産業学部	1,000名	1,014名
学部計	3,600名	3,777名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	50名
	博士後期課程	15名	3名
大学院計		55名	53名

< 学生数－内訳 (2012.5.1現在) >

流通科学大学

学部	学科	1学年	2学年	3学年	4学年	全学年合計		
						男	女	計
商学部	(商)※	5	0					
	流通学科		3	191	216			
	経営学科		6	125	199			
	ファイナンス学科		2	68	126			
	商学科	409	406					
	計	414	417	384	541	1,396	360	1,756
情報学部	(情)※	3						
	経済情報学科		2	106	152			
	経営情報学科		4	130	165			
	計	3	6	236	317	503	59	562
総合政策学部	総合政策学科	198	247					
	計	198	247			383	62	445
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科		3	164	190	211	146	
	医療福祉サービス学科	1		104	110	156	59	
	観光学科	74	66			71	69	
	サービスマネジメント学科	159	143			200	102	
	計	234	212	268	300	638	376	1,014
学部計		849	882	888	1,158	2,920	857	3,777

※(商)、(情)について、2006年～2010年度入学生までは、2年次後期まで学科所属が決定しない

カリキュラムであったため、1年次～2年次前期までは便宜上、(商)、(情)という表現を使用しています。

流通科学大学大学院

研究科	課程	1学年	2学年	3学年		全学年合計		
						男	女	計
流通科学研究科	修士課程	25	25			19	31	50
	博士後期課程	1	1	1		1	2	3
大学院計		26	26	1		20	33	53

総合計	875	908	889	1,158	2,940	890	3,830
-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----	-------

<卒業生数・就職者数・進学者数>

流通科学大学

学部	学科	2012年度 卒業生数	卒業生数 累計	2012年度 就職者数	2012年度 進学者数
商学部	流通学科	178(9)	4,845	138	4
	経営学科	156(18)	4,132	111	0
	ファイナンス学科	90(4)	1,545	64	2
	サービス産業学科		815		
	計	424(31)	11,337	313	6
情報学部	経済情報学科	92(6)	2,551	59	0
	経営情報学科	123(7)	2,737	82	2
	計	215(13)	5,288	141	2
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	153(4)	1,094	128	0
	医療福祉サービス学科	86(1)	1,036	70	0
	計	239(5)	2,130	198	0
学部計		878(49)	18,755	652	8

※2012年度卒業生数のうち、()の数字は2012年度9月卒業生数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2012年度 卒業生数	卒業生数 累計	2012年度 就職者数	2012年度 進学者数	2012年度 卒業生数	卒業生数 累計	2012年度 就職者数	2012年度 進学者数
流通科学	22(2)	223	8	0	0	11	0	0

※2012年度卒業生数のうち、()の数字は2012年度9月卒業生数

<卒業後の進路(主な就職分野)[具体的な就職先等]>

2012年度 主な内定先

※業種毎の五十音順

建設・不動産	(株)アキュラホーム エス・バイ・エル(株) (株)きんでん 新生ホームサービス(株) 住友不動産販売(株) セキスイハイム近畿(株) セキスイハイム東四国(株) 大和ハウス工業(株) (株)長谷工ライブネット 美樹工業(株)	キムラ海陸通商(株) (株)クボタ建機ジャパン コイズミ照明(株) (株)高速 コーチ・ジャパン(合) (株)コスモライフ 山見食品(株) (株)ゼンシヨク (株)トーホーフードサービス トヨタエルアンドエフ兵庫(株)	(株)ベベ (株)ボトマック マックスバリュ西日本(株) (株)マツモトキヨシ (株)マルアイ (株)マルナカ (株)マルハチ (株)万代 (株)モンテローザ (株)U&S (株)ヨドバシカメラ 読売企画開発(株) (株)ライフオート (株)ライフコーポレーション (株)レリアン
	(株)伊藤園 (株)エーデルワイス エスフーズ(株) (株)オンワード樫山 (株)カナエフーズ 河村電器産業(株) キッセイ薬品工業(株) (株)金門製作所 グローリー(株) (株)ケーニヒスクローネ (株)サーフビバレッジ 佐藤製菓(株) JFE条鋼(株) 四国化成工業(株) 新日本印刷(株) スズキ(株) 富士スチール工業(株) フジッコ(株) プライムデリカ(株) (株)バイクルーズ 本部三慶(株) 六菱ゴム(株) 山崎製パン(株) (株)湯山製作所	卸売 (株)ナカシマ 日産プリンス兵庫販売(株) 日清テクノス(株) ネクスト・ワン(株) 藤原産業(株) (株)MANIX (株)マヤテック 宮野医療器(株) 森園化成(株) (株)山星屋 ユーシーシーフーズ(株) (株)ルシアン (株)ロートレ・アモン	小売 (株)ベベ (株)ボトマック マックスバリュ西日本(株) (株)マツモトキヨシ (株)マルアイ (株)マルナカ (株)マルハチ (株)万代 (株)モンテローザ (株)U&S (株)ヨドバシカメラ 読売企画開発(株) (株)ライフオート (株)ライフコーポレーション (株)レリアン
	(株)伊藤園 (株)エーデルワイス エスフーズ(株) (株)オンワード樫山 (株)カナエフーズ 河村電器産業(株) キッセイ薬品工業(株) (株)金門製作所 グローリー(株) (株)ケーニヒスクローネ (株)サーフビバレッジ 佐藤製菓(株) JFE条鋼(株) 四国化成工業(株) 新日本印刷(株) スズキ(株) 富士スチール工業(株) フジッコ(株) プライムデリカ(株) (株)バイクルーズ 本部三慶(株) 六菱ゴム(株) 山崎製パン(株) (株)湯山製作所	卸売 (株)ナカシマ 日産プリンス兵庫販売(株) 日清テクノス(株) ネクスト・ワン(株) 藤原産業(株) (株)MANIX (株)マヤテック 宮野医療器(株) 森園化成(株) (株)山星屋 ユーシーシーフーズ(株) (株)ルシアン (株)ロートレ・アモン	金融 あかし農業協同組合 尼崎信用金庫 (株)伊予銀行 SMBCフレンド証券(株) (株)愛媛銀行 四国労働金庫 第一生命保険(株) 但馬信用金庫 丹波ささやま農業協同組合 但陽信用金庫 日新信用金庫 播州信用金庫 姫路信用金庫 兵庫信用金庫 兵庫西農業協同組合 (株)三井住友銀行 (株)みなと銀行
	インターネットウェア(株) (株)ヴィクス (株)NSD (株)国際通信社 コムテックサービス(株) (株)サイプレス・ソリューションズ さくら情報システム(株) 住友化学システムサービス(株) (株)ソフトウェア・サービス 明治安田システム・テクノロジー(株)	近畿中四国ペプシコーラ販売(株) (株)銀ビルストア クオール(株) (株)神戸マツダ (株)光洋 コストコホールセールジャパン(株) (株)コスモス薬品 ゴダイ(株) (株)コメリ (株)サマンサタバサジャパンリミテッド (株)山陽マルナカ (株)G-7ホールディングス (株)シブス 上新電機(株) (株)スギ薬局 (株)スズキ自販兵庫 (株)セブニーイレブン・ジャパン 大黒天物産(株) (株)デミック 徳島日産自動車(株) トヨタカローラ兵庫(株) (株)ナック (株)ナフコ ネットトヨタウエスト兵庫(株) ネットトヨタ大阪(株) ネットトヨタ神戸(株) (株)ハートフレンド (株)ハローズ (株)阪食 姫路三菱自動車販売(株) (株)兵庫朝日販売ホールディング 兵庫トヨタ自動車(株) 兵庫日産自動車(株) 兵庫三菱自動車販売(株)	医療・福祉 (福)明石恵泉福祉会 (福)あかり福祉会 (福)淡路市社会福祉協議会 (福)鶯園 (福)恵泉寮 (福)神戸海星会 神戸市立社会福祉施設自立センターあづま (有)日本健康管理システム 日本年金機構 (福)阪神福祉事業団 ファインフォレスト(株)
運輸	(株)上組 (株)合通 (株)サカイ引越センター 山九(株) (株)スーパーレックス 大和物流(株) 寺本運輸倉庫(株) トレーディア(株) 西日本旅客鉄道(株) (株)日新 阪神ロジテム(株) 日立物流コラボネクスト(株) (株)ベル・エキブ 北神急行電鉄(株) 水岩ファッションサービス(株) 郵便事業(株) 両備ホールディングス(株) (株)リョーサン	小売 (株)山陽マルナカ (株)G-7ホールディングス (株)シブス 上新電機(株) (株)スギ薬局 (株)スズキ自販兵庫 (株)セブニーイレブン・ジャパン 大黒天物産(株) (株)デミック 徳島日産自動車(株) トヨタカローラ兵庫(株) (株)ナック (株)ナフコ ネットトヨタウエスト兵庫(株) ネットトヨタ大阪(株) ネットトヨタ神戸(株) (株)ハートフレンド (株)ハローズ (株)阪食 姫路三菱自動車販売(株) (株)兵庫朝日販売ホールディング 兵庫トヨタ自動車(株) 兵庫日産自動車(株) 兵庫三菱自動車販売(株)	サ・ピ・ス・その他 (株)アニヴェルセル (株)117 (株)エイチ・アイ・エス (株)関電パワーテック (株)神戸ポートピアホテル 広友ホールディングス(株) (株)スタジオアリス 全国酪農業協同組合連合会 一般社団法人全日検 テンプスタッフ(株) (株)トヨタレンタリース神戸 (株)パソナ 兵庫みらい農業協同組合 兵庫六甲農業協同組合 三井住友ファイナンス&リース(株) モラル阪神工業(株) 郵便局(株) (株)レント ロングライフホールディング(株) (株)ワークアカデミー 大分県庁 小野市消防本部 自衛隊 高砂市役所 兵庫県警察本部
卸売	(株)あらた 伊丹産業(株) 伊藤忠エネクスホームライフ関西(株) 伊藤忠丸紅テクノスチール(株) (株)オリバー (株)春日井	卸売 (株)ナカシマ 日産プリンス兵庫販売(株) 日清テクノス(株) ネクスト・ワン(株) 藤原産業(株) (株)MANIX (株)マヤテック 宮野医療器(株) 森園化成(株) (株)山星屋 ユーシーシーフーズ(株) (株)ルシアン (株)ロートレ・アモン	卸売 (株)ナカシマ 日産プリンス兵庫販売(株) 日清テクノス(株) ネクスト・ワン(株) 藤原産業(株) (株)MANIX (株)マヤテック 宮野医療器(株) 森園化成(株) (株)山星屋 ユーシーシーフーズ(株) (株)ルシアン (株)ロートレ・アモン

④教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDFファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑤学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	流通学科	4年	128	学士(商学)
	経営学科			学士(経営学)
	ファイナンス学科			学士(ファイナンス)
	商学科			学士(商学)
情報学部	経済情報学科			学士(経済情報)
	経営情報学科			学士(経営情報)
総合政策学部	総合政策学科			学士(総合政策)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科			学士(観光・生活文化事業)
	医療福祉サービス学科			学士(医療福祉サービス)
	観光学科			学士(観光)
	サービスマネジメント学科			学士(サービスマネジメント)

流通科学大学大学院

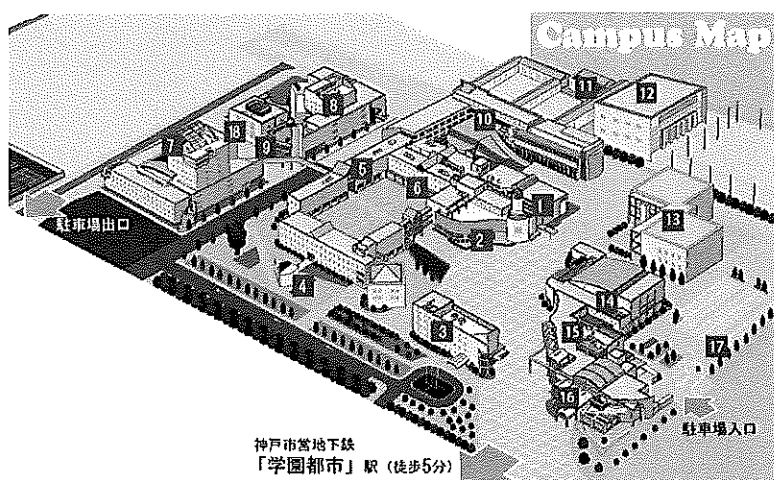
研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3年	12	博士(流通科学)

⑥学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩5分
	情報学部		
	サービス産業学部		
	総合政策学部		
	流通科学研究科		

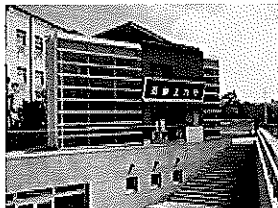
<キャンパスの概要>



- | | | |
|--------------|---------------|---------------------------------|
| 1. ベルタワー | 7. 講義棟2、研究棟2 | 13. 講義棟6
(キャリアセンター、メディアセンター) |
| 2. 附属図書館 | 8. 講義棟3、研究棟3 | 14. RYUKA HALL |
| 3. 本部棟(事務局) | 9. 大学院 | 15. ローソン流科大実習店 |
| 4. 中内功記念館 | 10. 講義棟5、研究棟5 | 16. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 講義棟1、研究棟1 | 11. クラブハウス | 17. 学生専用駐車場 |
| 6. 中庭・保健室 | 12. アスレチック棟 | 18. 流通資料館 |



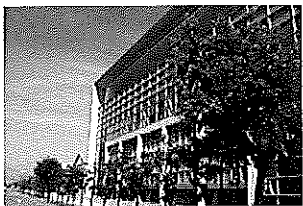
ベルタワー(1)



中内功記念館(4)



中庭・保健室(6)



アスレチック棟(12)



講義棟6(13)

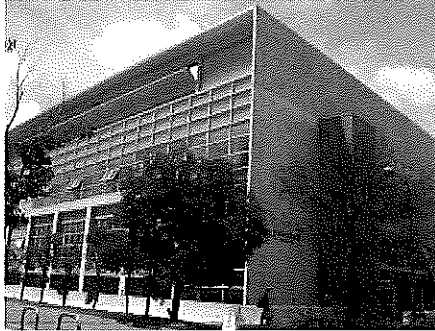


RYUKA DINING(レストラン)(16)

<運動施設の概要>

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学20周年記念事業の一環として建設し、2006年4月に竣工。



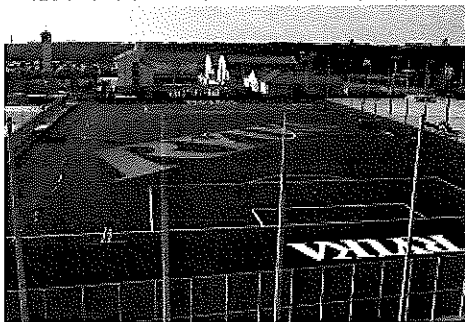
・流通科学大学野球場

両翼100メートル、中堅122メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

北側と西側にグラウンドが2面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的: 課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体: 約30の体育会系クラブと15以上の文化会系クラブ、また体育会系50程度、文化会系20程度のサークルもあり、学園祭実行委員会など独立団体も合わせて在学生全体の56%(2012年度実績)が何らかの団体に参加している。

⑦学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目			入学時	後期(9月)	納付額
初年度のみ	入学金		300,000円	—	300,000円
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000円	—	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140円	—	4,140円
学費	授業料		385,000円	385,000円	770,000円
	施設設備維持拡充費		50,000円	50,000円	100,000円
	教育充実費		50,000円	50,000円	100,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—	42,000円
合計			841,140円	485,000円	1,326,140円

2年目以降の納付金	前期(4月)	後期(9月)	納付額
	527,000円	485,000円	1,012,000円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用(入学金)	二次手続費用(前期授業料等)
300,000円	541,140円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。

2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

- サービス産業学部の福祉マネジメントコースを選択した学生で、福祉施設の実習に行く場合は、2年次前期から5万円の実験実習費が必要となる(2年次前期から2年間の計4期で合計20万円)。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。
- 各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと扱う。
- いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額		納付時期
			修士課程	博士後期課程	
初年度のみ	入学金		300,000円	300,000円	入学 手続時
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170円	3,230円	
	初年度のみ 合計		302,170円	303,230円	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円	
	前期教育充実費		50,000円	50,000円	
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円	
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
入学時納付金 合計			702,170円	703,230円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円	9月1日 ～ 10月31日
	後期教育充実費		50,000円	50,000円	
後期納付金 合計			370,000円	370,000円	
2011年度 納付金合計			1,072,170円	1,073,230円	

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で 通知する。

⑧学生支援と奨学金に関する情報

<学生支援組織>

学生支援	組織名	機能
就職支援	キャリア開発課	・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・OB・OG就職相談会 ・就職対策宿泊セミナー ・4年生による就職活動相談会 ・就職父母懇談会 ・キャリアリーダー・チューター制度 ・業界研究セミナー ・SPI対策講座 ・女子学生フェミニンセミナー ・サテライトオフィス(東京・大阪)
進学支援	入試課 教務課	・大学院入試制度の紹介等
履修支援	教務課 学習支援センター	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時) ・学修相談会(年10回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生課 アジア流通研究センター	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介
保険・衛生・メンタルヘルス等	保健室	・毎月定期的に学校医による健康相談 ・保健師による健康相談 ・カウンセラーによる悩み相談 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等
その他		

<奨学金>

『一般学生対象の奨学金制度』

「成績優秀者奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の成績優秀な学部生に対し支給する。

(資格)

- ・各学年各学部の前年度取得科目の素点平均による成績上位者
- ・2～4年の各学年それぞれ7名(商学部3名、情報学部2名、総合政策学部2名、サービス産業学部2名)

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 30万円(年額)

(2012年度実績) 商学部9名、情報学部4名、総合政策学部2名、サービス産業学部6名

(備考) 留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の学部生に限る

「下宿サポート奨学金(A方式入試合格者)」

(主旨)

一般入試A方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・入学後下宿予定の者でA方式成績上位50名

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円(授業料免除)

(2012年度実績) 21名

(備考) 一般入試A方式の3日間とも対象

「S方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試S方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・S方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2012年度実績) 14名 ※1年生実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「C方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試C方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的とし支給する。

(資格)

- ・C方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 30万円(年額)

(2012年度実績) 5名 ※1年生実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「商業系特別推薦入試奨学金」

(主旨)

商業系特別推薦入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的とし支給する。

(資格)

- ・商業系特別成績上位 20 名(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 1 年次 30 万円(年額)

(2012 年度実績) 5 名 ※1 年生実績

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「兄弟姉妹入学奨学金」

(主旨)

本学に兄弟姉妹で同時に学ぶ学生に対し支給する。

(資格)

- ・新入生であること
- ・兄弟姉妹が流通科学大学及び大学院の在学者であること
- ・兄弟姉妹が申請時に在学をしている者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円

(2012 年度実績) 35 名

(備考) 兄弟姉妹が休学の者は除く

「日本学生支援機構」

(主旨)

学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者。

(選考)

- ・第一種奨学金
特に優れた学生及び生徒で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与する。
- ・第二種奨学金
第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与する。

(支給方法) 貸与

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

- ・第一種奨学金
自宅通学者 3.0 万円、5.4 万円の中から選択
自宅外通学者 3.0 万円、6.4 万円の中から選択
- ・第二種奨学金 3 万、5 万、8 万、10 万、12 万の中から選択

(2012 年度実績) 第一種 261 名、第二種 1,326 名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝上限 3%

「(財)瀧川奨学財団」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)・兵庫県出身者の者、または家族が県内に住んでいる者。

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2.5 万円(月額)

(2012 年度実績) 2 名

「(財)山村育英会奨学金」

(主旨)

大学学部在学する志操堅固、学力優秀な者(2年生以上)

(支給方法) 給付

(支給期間) 3年間

(金額) 3万円(月額)

(2012年度実績) 1名

「その他の奨学金」

神戸市大学奨学金[給付:月額1万5千円]

三木市教育委員会奨学金[給付:月額9千円]

(財)あしなが育英会奨学金[貸与:月額4万円]

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生及び社会人入試、帰国生徒入試で入学した者に対し支給する。

(資格)

- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 5.3万円(月額)

(2012年度実績) 16名

(備考) 規程:各学年10名以内

「中内学園大学院特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、研究心が旺盛で、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者に対し支給する。

(資格)

- ・大学院修士課程在学者及び大学院博士後期課程在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 修士課程7.1万円(月額) 博士後期課程8万円(月額)

(2012年度実績) 16名

(備考) 規程:修士 各学年8名以内 博士 各学年2名以内

「授業料減免(50%)」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の50%

(2012年度実績) 12名

(備考) 財源:流通科学大学、各種奨学金と重複しない。

「授業料減免(30%)」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の 30%

(2012 年度実績) 111 名

(備考) 財源:流通科学大学、各種奨学金と重複しない。

「国費外国人留学生奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・4 年次以上で「留学」の資格を持つ外国人留学生
- ・大学院生で「留学」の資格を持つ外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで ※毎年申請

(金額) 学部生 12.6 万円(月額) + 授業料等納付金全額 大学院生 16 万円(月額) + 授業料等納付金全額

(2012 年度実績) 0 名

(備考) 財源:文部科学省

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 学部生 4.8 万円(月額) 大学院生 6.5 万円(月額)

(2012 年度実績) 30 名(うち 1 名半期のみ)

(備考) 財源:文部科学省

「兵庫県私費留学生奨学金」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

- ・兵庫県内の大学に在学する私費外国人留学生。

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 3 万円(月額)

(2012 年度実績) 12 名

(備考) 財源:神戸市

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・国際交流活動を積極的におこなったもの

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで(最長2年) ※毎年申請

(金額) 大学院生 14 万円、学部生 10 万円(月額)

(2012 年度実績) 0 名

(備考) 財源:米山財団

「平和中島財団奨学金」

(主旨)

日本の大学に在籍する私費留学生で、学業・人物ともに優れている者に対し支給する。

(資格)

- ・日本の大学に在籍する学生
- ・「留学」の資格を持つ外国人留学生

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで(最長2年) ※毎年申請

(金額) 大学院生 12 万円、学部生 10 万円(月額)

(2012 年度実績) 0 名

(備考) 財源:平和中島財団

「神戸菅原奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・開発途上国等からの外国人私費留学生
- ・神戸市内の大学、大学院の在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 8 万円(月額)

(2012 年度実績) 0 名

(備考) 財源:神戸市

(3)管理運営の概要

【ガバナンス】

「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

「常任理事会」……………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する。

「評議員会」……………予算、事業計画、寄付行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問。

「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成の基準及び全学の調整に関する学長の諮問、本学の教員の採用及び昇格の全学の調整に関する学長の諮問、本学の教育研究に係る自己点検・評価及び第三者評価に関する学長の諮問、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。

「教授会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学生の卒業、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成に関する学長の諮問、教員の採用及び昇格に関する学長の諮問、その他本学の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

「研究科委員会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学位論文の審査及び課程修了認定、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成、大学院担当教員の選考、その他大学院研究科の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

2012 年度の開催回数について

理事会	4 回	学長会議	13 回
常任理事会	1 回	教授会	46 回(商学部 16 回、総合政策学部 15 回、サービス産業学部 15 回)
評議員会	4 回	研究科委員会	8 回

【自己点検・評価】

<自己点検・評価の目標>

自己点検・評価は本学における各種の取り組みの検証・改善を目的とする。

このために自己点検・評価の手法と評価の指標や目標を明確にし、自己点検・評価を Plan-Do-Check-Act のサイクルで検証し、改善に結びつける体制を確立し、さらには第三者による評価に付す仕組みを整えることを目標とする。

<自己点検・評価の経過>

・教育研究等活動報告

各教員の教育研究活動に関しては、1993 年度に「教育研究等活動報告(1992 年度)」が出版され、以降毎年度出版している。これには各教員の、研究活動、教育活動、その他の活動が記録されており、特に発行当初から、「授業で工夫・改善した事柄」を記述している点が特色となっている。

2005 年度の「教育研究等活動報告」(2006 年度発行)からは、各教員が恒常的に自己点検・評価をすることを目指し、「今年度の(研究、教育、その他の活動に関する)目標」の項目が付け加えられた。

・学外者による評価・アドバイス

自己点検・評価と関連し、2004 年度からアドバイザリー・コミッティ委員制度を導入した。

これは、実業界のトップから実業界・社会からの要請を踏まえたご意見とアドバイスを受けて、次の項目の協力を得ようとするものである。

1. 学園の経営に関するアドバイス
2. 企業から期待する教育に関するアドバイス
3. 就職とキャリア教育に関する支援
4. 入試に関するアドバイス
5. 産学連携

<現在の自己点検・評価の体制>

・教育審議会

本学の教育研究活動などの自己点検・評価に関する事項を審議する機関を「教育審議会」という。

教育審議会は、副学長のほか、各学部長、大学事務局長、教学部長などから構成されており、具体的な対策が実行しやすい組織になっている。また、全学的な最高意思決定機関である学長会議でも、本学の教育研究に係る自己点検・評価および第三者評価に関する学長の諮問事項を審議する。

自己点検・評価の対象は、本学のあらゆる取り組みにわたり、担当者、担当部署、担当委員会などの日常的な取り組み・日常的な自己点検・評価は、それぞれの委員会報告などでなされている。

これらの総括のため、「自己点検・評価を恒常的に行うための制度システム」が必要であり、本学では自己点検・評価の中核機関として「教育審議会」を位置付けている。

・教育審議会規則

※大学ホームページにて公開(PDF ファイルのダウンロード可)

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

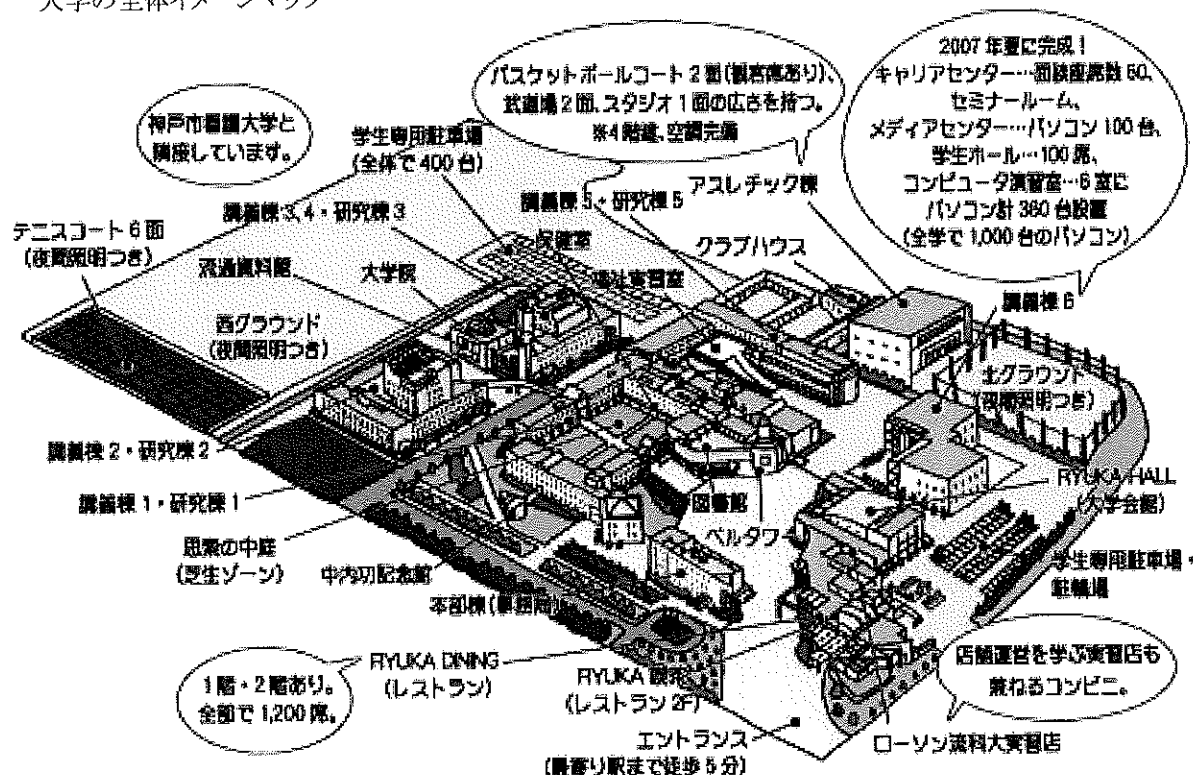
・教育研究活動の状況

※大学ホームページにて公開

【施設設備整備】

<概要>

大学の全体イメージマップ



<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 186,972 冊、雑誌 2,235 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内町記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

19. 第 2 クラブハウス

延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成

20. 第 3 クラブハウス

延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成

21. 駐車場台数

約 500 台(学生用 400 台、教職員用 100 台)

22. 駐輪場台数

約 350 台

23. グラウンド

西側グラウンド・北側グラウンドの 2 面

24. 流通科学大学野球場

敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成

(更衣室等 171.95 平方メートル)

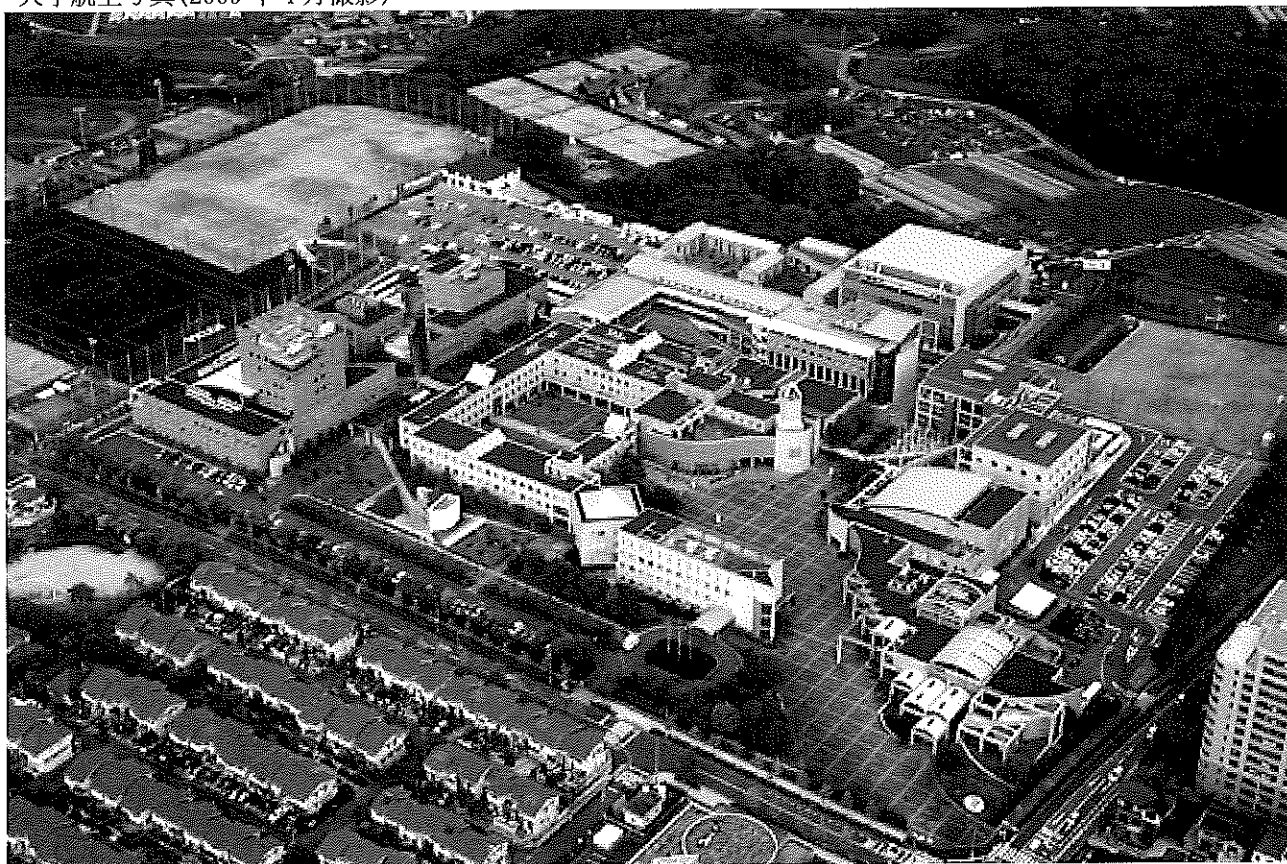
25. 大阪オフィス

賃貸面積 225.99 平方メートル

26. 東京オフィス

賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2009 年 4 月撮影)



(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

<FD に関する取り組み>

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994 年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001 年度)
- ・「全学的一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003 年度)
- ・FD 研修会の継続実施

<高等教育研究センター>

- ・FD の推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
- ・認定留学制度

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は1ヶ月程度。研修実施国はアメリカ、ニュージーランド、中国の3カ国。

<海外市場研究>

- ・本学の学生を対象に海外の流通事情調査を実施。調査期間は1週間。視察対象を凝縮し合理的かつ効率的に学べるプログラム。

<海外の提携校>

- ・台湾…国立高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学、蘇州大学応用技術学院、南京大学大学外国部
四川外国語学院
- ・ベトナム…貿易大学
- ・タイ…カセサート大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学パスウェイズカレッジ
- ・アメリカ…ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド…バーサ大学
- ・フランス…ESC プルターニュブレスト

<アジア流通研究センター>

- ・本学の建学理念に基づく「アジアを中心とした流通研究」と「アジアとの交流」を推進するため、学生交流、学術交流、ビジネス交流を促進する機能を遂行する組織。

③社会貢献・連携活動の概要

<産官学連携 活動実績(2012 年度)>

- ・学園都市ゼミ対抗企画「日本盛杯」を開催

概要: ～日本酒関連(日本酒及び酒コスメ)の消費拡大策を企画せよ!～ をメインテーマに、新商品の提案、新しい日本酒の飲み方や店頭で実現可能な企画、キャンペーンや広告等のプロモーション企画などの提案を発表する。

日程:2012年9月～12月

主催:流通科学大学

参加:4大学(神戸学院大学、神戸芸術工科大学、兵庫県立大学、本学)、43チーム参加者総数202名

・あいたい兵庫キャンペーン まちあるき企画

概要:兵庫県、県内の全市町、観光団体などが連携し、全国から兵庫観光を誘致するキャンペーン。
マーケティングを学ぶ学生が、自ら調査した独自のツアールートを提案する。

日程:2012年10月～2013年3月

主催:兵庫県

参加:本学から1ゼミが参加

・日産自動車企画 ライフ・オン・ボード新企画提案

概要:車に乗り込むところから、運転の準備、実際の運転、車から降りるまでの全てのシーンに、これまでにない新たな価値を提供する。

日程:2012年9月～12月

主催協力:日産自動車株式会社

参加:本学7ゼミ15チーム、29名が参加

・明石市連携企画

概要:明石市と連携し、協賛企業の協力のもと明石の特産品を考える企画を実施。5つの商品が完成し、西武高槻店にて、本学の事業創造クラス(井上芳郎教授)、足立ゼミ、頭師ゼミ、南木ゼミの学生らが企画した特産品が販売された。

日程:2012年3月～6月

主催:明石市

参加:本学から4ゼミ・約50名が参加。

・KOBE にさんがろくプロジェクト

概要:神戸市と本学で開発を進めていた神戸旬菜のPRプロジェクトが発展し、「KOBE にさんがろくプロジェクト」が開催され、神戸牛三昧弁当、いかなごパン、神戸杏仁真珠パン、神戸マッシュメレンなどの提案があった。

日程:2012年9月～11月

主催:神戸市

参加:本学から4チーム・30名が参加

＜地域交流 活動実績一覧(2012年度)＞

・神戸市西区との連携協定に基づいた連携活動

概要:神戸市西区健康福祉部との連携で地域の高齢者の方々を主な対象に健康講座を実施。

日程:2012年5月～12月

主催:神戸市西区

場所:本学、その他

実施回数・参加状況:全19回実施。地域の高齢者の方等380名が参加。

・トライやるウィーク受け入れ

概要:春期(6月4日～6月8日)1校、秋期(11月5日～11月9日)2校の計3つの中学校から5名の生徒を1週間受け入れ、職業体験を実施。

日程:2012年6月、11月

主催:兵庫県

場所:本学

・学園夏祭り

概要:本学の文化会、情報フォーラム部、現代視覚文化研究会、福祉ボランティア部『ミルクティ』、社会イベント隊ランニングボランティア部が運営を担当。

日程:2012年8月4日、5日

主催:学園西町自治会

場所:学園都市駅前ユニバードーム

〈概況〉

2012年度の消費収支は、基本金組入により単年度では約3億6千万円の支出超過となりました。帰属収入の減少はありましたが、必要経費の選択と集中に努めた結果、帰属収支では約2千万円の収入超過となりました。

自己資本も前年比約2千万円増の361億4千万円となり、引き続き磐石な財務構造を維持しています。

〈消費収支計算書〉

(単位:百万円)

消費収入の部	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度
学納金	3,798	3,973	4,116	4,166
手数料	49	57	71	85
寄付金	47	81	56	80
補助金	332	298	250	313
資産運用収入	156	141	143	161
事業収入	64	68	59	62
雑収入	33	22	27	44
帰属収入合計	4,479	4,640	4,722	4,911
基本金組入額	△378	△569	△538	△1,410
消費収入合計	4,101	4,071	4,184	3,501
消費支出の部	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度
人件費	2,310	2,331	2,323	2,312
教育研究経費	1,601	1,607	1,506	1,513
管理経費	531	473	512	411
その他	15	7	4	2
消費支出合計	4,457	4,418	4,345	4,238
単年度収支	△356	△347	△161	△737
基本金取崩額	-	-	-	-
累計収支	2,522	2,878	3,225	3,386

〈資金収支計算書〉

(単位:百万円)

収入の部	2012 年度	2011 年度	2010 年度	2009 年度
学納金収入	3,798	3,973	4,116	4,166
手数料収入	49	57	71	85
寄付金収入	40	73	21	52
補助金収入	332	298	250	313
資産運用収入	156	141	143	161
事業収入	64	68	59	62
雑収入	33	22	27	44
借入金等収入	0	0	6	16
前受金収入	567	652	732	790
その他の収入	4,757	3,595	3,815	3,815
資金収入調整勘定	△678	△ 751	△ 805	△ 861
前年度繰越支払資金	5,180	5,154	4,450	4,658
収入合計	14,298	13,282	12,885	13,301
支出の部	2012 年度	2011 年度	2010 年度	2009 年度
人件費支出	2,258	2,281	2,331	2,286
教育研究経費支出	1,132	1,133	1,036	1,059
管理経費支出	472	411	452	353
借入金等返済支出	3	8	8	3
施設関係支出	91	177	90	1,368
設備関係支出	35	49	51	27
資産運用支出	3,636	2,979	2,853	2,733
その他の支出	1,082	1,193	1,170	1,276
資金支出調整勘定	△122	△ 129	△ 260	△ 254
次年度繰越支払資金	5,711	5,180	5,154	4,450
支出合計	14,298	13,282	12,885	13,301

〈貸借対照表(経年比較)〉

(単位:百万円)

資 産 の 部				
科 目	2012 年度	2011 年度	2010 年度	2009 年度
固 定 資 産	31,986	32,546	32,514	32,827
有形固定資産	21,779	22,188	22,496	22,853
土地	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	9,953	10,324	10,616	10,979
教育研究用機器備品	148	185	201	213
図書	901	894	885	873
その他	51	59	68	62
その他の固定資産	10,207	10,358	10,018	9,974
特定資産	5,547	5,173	4,797	4,400
その他	4,660	5,185	5,221	5,574
流 動 資 産	5,747	5,215	5,186	4,483
現金預金	5,711	5,180	5,154	4,450
その他	36	35	32	33
資産の部 合計	37,733	37,761	37,700	37,310
負 債 の 部				
固 定 負 債	859	809	763	768
退職給与引当金	855	803	752	760
その他	4	6	11	8
流 動 負 債	731	831	1,038	1,021
前受金	567	652	732	790
その他	164	179	306	231
負債の部 合計	1,590	1,640	1,801	1,789
基 本 金 の 部				
第 1 号基本金	30,660	30,604	30,360	30,227
第 2 号基本金	1,044	724	400	0
第 3 号基本金	1,559	1,557	1,556	1,550
第 4 号基本金	358	358	358	358
基本金の部 合計	33,621	33,243	32,674	32,135
消費収支差額の部				
次年度繰越消費収支差額	2,522	2,878	3,225	3,386
消費収支差額の部 合計	2,522	2,878	3,225	3,386
負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部合計	37,733	37,761	37,700	37,310

〈主な財務比率(経年比較)〉

比率	(算式)	2012 年度	2011 年度	2010 年度	2009 年度
流動比率	流動資産/流動負債	786.1%	627.0%	499.7%	439.2%
人件費比率	人件費/帰属収入	51.6%	50.2%	49.2%	47.1%
人件費依存率	人件費/学納金	60.8%	58.7%	56.4%	55.5%
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	35.7%	34.6%	31.9%	30.8%
管理経費比率	管理経費/帰属収入	11.9%	10.2%	10.9%	8.4%
消費支出比率	消費支出/帰属収入	99.5%	95.2%	92.0%	86.3%